

苦難を乗り越え片手で紡ぐ魂の音

ちない

たけお

左手のピアニスト 智内 威雄



左手のためのソロと室内楽作品

- ゴドフスキー: 瞑想曲
- ボルトキエヴィチ: 前奏曲
- ゼツキーニ: ナオウリ
- J.S. バッハ(ヴァイトゲンシュタイン編): シャコンヌ
- フランツ・シュミット: ピアノ五重奏曲

共演(フランツ・シュミット ピアノ五重奏曲)



渡辺 美穂
(ヴァイオリン)

大阪フィル コンサートマスター



藤井 美奈子
(ヴァイオリン)



棚橋 恭子
(ヴィオラ)



近藤 浩志
(チェロ)

大阪フィル首席奏者

2014年 11月 8日(土) 18:00開演 17:30開場 [自由席]

一般 3,500円

チャリティーシート 3,850円 中央ブロックA列・B列23席は通常料金の10%アップ。プラス分をチャリティーとして寄付致します。

学生 2,100円

ハーフ60 2,100円 後半のみの当日券。一般料金の60%※開演時間以降に販売開始。

友の会会員発売 8月9日(土) フレンズ会員発売日 8月10日(日) 一般発売日 8月17日(日)

チケットの
お求めは

宗次ホールチケットセンター TEL:052(265)1718

〒460-0008 名古屋市中区栄4-5-14 地下鉄栄駅⑩番出口より東へ徒歩4分

営業時間:10:00~18:00 年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)

「チャリティーシート」、「ハーフ60」のチケットに関しては、宗次ホールチケットセンターでのみ取扱います。

●チケットぴあ TEL:0570(02)9999 ●栄プレチケ92 TEL:052(953)0777 ●芸文P.G. TEL:052(972)0430

●ヤマハP.G. TEL:052(201)5152 ●中日サービスセンター TEL:052(263)7282

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、お断りする場合がございます。



くらしの中にクラシック

宗次ホール

Munetsugu Hall

<http://www.munetsuguhall.com>

プログラムについて

智内 威雄

近代のクラシック音楽を語る上で、二度の世界大戦は避けて通れない影響を与えてきました。

有名などころではショスタコーヴィチなどのロシア人作曲家達の存在でしょうか。しかし戦中に生まれた希望という意味では、左手のためのピアノ曲こそが、音楽の真の力を発揮した分野であるとも言えます。なぜならその作品は第一次大戦に従軍し右手を失った名ピアニスト、ヴィトゲンシュタインの存在抜きには語れないからです。この分野に挑んだ作曲家シュミットは、第二次大戦後、ナチス協力者の烙印を押され、楽曲の演奏機会を失われました。第一次世界大戦勃発から100年の今年、彼ら戦争に翻弄された作曲者の作品を通して、改めて音楽の持つ希望を感じていただければと思います。

この楽曲は、その時代のウィーンを表した様な楽曲であり、そのやわらかな雰囲気の中にも近代絵画を連想させるような、滑稽さを持ち合わせた、時代を代表する隠れた名曲となっています。是非お楽しみください。



智内 威雄(ピアノ) Takeo Chinai

東京音楽大学在学中にミラノにて研鑽を積む。卒業後、ドイツ国立ハノーバー音楽大学に入学、その間、グリーグ国際コンクールで特別賞、マルサラ国際音楽コンクール3位入賞等数々のコンクールにて入賞受賞。2001年ジストニアが発症し休学・リハビリを開始する。2003年よりドイツにて左手のピアニストとして活動を再開する。2006年に広島交響楽団とラヴェルの「左手のための協奏曲」を共演し絶賛され、同年日本デビューをする。「左手のピアニスト」として驚異的なテクニックと深遠かつ豊かな音楽性で新境地を切り拓く。片手にハンディキャップをもつ演奏家に、音楽を続ける道を示す任意団体「左手のアーカイブ」プロジェクトを設立する。関西テレビドキュメンタリー番組、NHK(Eテレ)ETV特集「左手のピアニスト〜もうひとつのピアノ・レッスン〜」、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、NHK(AM,FM,TV)等のメディア各社にて活動の特集が組まれる。

渡辺 美穂(ヴァイオリン) Miho Watanabe

1983年、名古屋市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め、林茂子、故久保田良作、ゲルハルト・ボッセ、ジェラルド・ブーレ、澤和樹の各氏に師事する。東京藝術大学音楽学部附属高等学校から同大学へと進み、卒業時にアカンサス音楽賞を受賞し、同大学院へ進学。大学院在学中の2006年、東京フィルハーモニー交響楽団へ入団。

第49回全日本学生音楽コンクール中学生の部 名古屋大会第1位。第53回全日本学生音楽コンクール高校生の部 全国大会第1位。

2012年9月より大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。現在は大阪音楽大学で非常勤講師も務める。またソリストとして名古屋フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア、セントラル愛知交響楽団等と協演。

棚橋 恭子(ヴィオラ) Kyoko Tanahashi

4歳よりヴァイオリンを始める。18歳でヴィオラに転向。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、オーケストラプロジェクト出演。サイトウ・キネンフェスティバル「若い人のための室内楽勉強会」参加。霧島音楽祭マスタークラス受講。2010年、鳥取県クラシック・アーティストオーディションにて優秀賞受賞。その受賞者記念リサイタルを鳥取市にて開催。2012年、『Quartetto Caldo』ストリングリサイタルを東京・鳥取(倉吉市)にて開催。2013年、フルート・ヴィオラ・ハープによるアンサンブルコンサートを鳥取市にて開催。

現在、東京を拠点にオーケストラや室内楽、レコーディング等多方面で演奏活動を行う中、地元鳥取での学校訪問や音楽活動に積極的に取り組んでいる。

これまでにヴァイオリンを井上民恵、ヴィオラを馬淵昌子、百武由紀、C.ルロン、井野遼大輔の各氏に師事。

藤井 美奈子(ヴァイオリン) Minako Fujii

7歳よりヴァイオリンを始める。北海道教育大学札幌校芸術文化課程卒業。これまでに、土方恭之、内田輝、澤和樹、水野佐知香、市川ヴァンチェンツォ、小森谷巧の各氏に師事。在学中、1年生で同大学定期演奏会にソリストとして出演。同年、日演連推薦新人演奏会にて、ソリストとして札幌交響楽団と共演。札幌市民芸術祭新人音楽会にて大賞受賞。2007年、2008年、PMFのオーケストラアカデミーを始め、リスト音楽院セミナー、霧島国際音楽祭等に参加。2012年、札幌にて読売日本交響楽団メンバーと室内楽コンサートを開催。昨年、札幌コンサートホール kitara 小ホールにてリサイタルを開催。

佐渡裕氏が芸術監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー、同楽団レジデントプレイヤーを経て、2014年3月まで京都市交響楽団契約団員。

近藤 浩志(チェロ) Hiroshi Kondo

東京藝術大学を経て、エコール・ノルマル及びブローニュ音楽院を首席卒業。大阪国際室内楽コンクールをはじめ国内外の多数のコンクールに入賞。松尾学術振興財団音楽賞2年連続大賞受賞。

ニューヨークのカーネギーホールや国連会議場等でのソリストとしての活動をはじめ新日本フィルや大阪フィル、ニューヨークフィル等国内外のオーケストラと共演、英国ロンドンウエストミンスター紙上やニューヨーク等で絶賛される。また、世界的指揮者ジャン・フルネ氏より「現代第一級のソリスト」の推薦状を受ける。

新日本フィルハーモニー交響楽団、東京ポップスオーケストラを経て、現在、大阪フィルハーモニー交響楽団チェロ首席奏者。大阪音楽大学、神戸女学院大学、大阪芸術大学、夕陽丘高校音楽科各講師。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)